

ジュエリー現代 創刊号

タイトルに「現代ジュエリーの行方」と名付けてはみたものの、実際のところ私自身にもその行方は定かではない。初めて作品を発表してから10年が過ぎた今も、これといった答えが見付けられないでいる。もちろんそんな事に悩まず、ただ目先の作品を制作し続ければ良いのかもしれないが、やはりいつもどこかで「現代ジュエリーとは何か？」という本質的な疑問に突き当たる。

それでも、その疑問は私にとって、結局は避けては通れない道である。だから今後この場を借りて、私なりの現代ジュエリー論を『ジュエリー現代』のカテゴリーの中で始めようと思う。その事にどれだけの意味があるのか、そしてどういう方向に話が進んで行くのかはまだ漠然として分らないが、もし記事に対して質問や意見があるようなら、ジュエリーに携わっていない分野の方でも、もちろん匿名でもかまわないので、ぜひ聞かせてほしい。

小西潤

2005年4月19日 午前4時29分